

## 令和3年度第1回寝屋川市ごみ減量化・リサイクル推進会議【書面開催】

### ●会長・副会長の選出について

全会一致により、会長 花嶋 温子（大阪産業大学 デザイン工学部環境理工学科 准教授）様、副会長 荻野 茂基（寝屋川市市政協力委員自治推進協議会）様に決まりました。

### ●「寝屋川市一般廃棄物処理実施計画」等に関する意見及び回答

番号	ページ	意見箇所	意見内容	事務局回答
1	P2	第2部 1 令和3年度排出量の見込み	1,890 t の超過の一番大きな要因は何が考えられますか。 また、焼却処理量の1,444 t 超過の要因は何が考えられますか。	一般廃棄物処理基本計画の予測ほど人口減少が進んでいないため、ごみ排出量・焼却処理量ともに超過していると考えております。
2	P3	第2部 2 ごみ減量・プロジェクト 第2弾	ごみ排出量・目標値の設定の根拠？ それを達成するための方法は？	寝屋川市一般廃棄物処理基本計画の令和5年度の目標値をごみ減量・プロジェクト第2弾の目標値としています。 達成するための方法として、大きくは「雑がみの分別」、「食品ロスの削減」、「生ごみの水分の削減」を3本柱とし、具体的な施策として「市内小中学校で雑がみ・ペットボトルキャップの回収事業」や「フードドライブ」、「イベント等での生ごみの水切り啓発及び生ごみ処理機の補助金拡充」等を行っているところでございます。
3	P4	第2部-3-◎重点取組事項-1) ア 雑がみの分別の徹底啓発	雑がみの情報発信方法の工夫？ 雑がみの分別仕分け指導！	雑がみの分別における情報発信につきましては、市広報誌の掲載を含め継続的に情報発信していきます。 また、若年層への周知のためSNSを活用した情報発信も行っております。
4	P4	第2部-3-◎重点取組事項-1) イ 市内小中学校で雑がみ・ペットボトルキャップの回収事業	市内小中学校で回収方法の工夫？ 出前講座で実行、また目に見える目標設置を考慮する。	市内小中学校で雑がみ・ペットボトルキャップの回収事業の回収方法については、令和3年度から雑がみ回収袋の配布に併せて、各学校ごとの目標値を設定し、目標を達成した学校とそうでない学校を区別して、デザートを提供を行うことで、より積極的に取り組んでもらう仕掛けを実施しているところでございます。

番号	ページ	意見箇所	意見内容	事務局回答
5	P4	第2部-3-◎重点取組事項 【啓発活動全般について】	啓発については、3項目の重点項目に的を絞り徹底する。紙面では、項目だけでなく、有効性や具体的な対処方法を分かりやすく説明をする。もっと細かく徹底。 対象を具体的に、例えば自治会単位（自治会会長）に絞っての協力のお願いをしていく。	次年度の実施計画において、重点取組事項については、ごみ減量・プロジェクトにおける3本柱を中心に検討します。 また、啓発対象についても検討してまいります。
6	P4	第2部-3-◎重点取組事項 【生ごみ対策全般について】	ウェイトが高い水分を含む生ごみ対策を、まず一番重要項目にする。 水分を少なくすることによる処理費用の貢献度などを具体的にPRする。 具体的に水分を10g減量する啓発等、減量する具体的な方法について説明をする。 生ごみ処理機の設置効果などの具体例や生ごみ活用法を説明し購入依頼をしていく。 新規住宅建設に生ごみ処理機の設置を啓発する。	水切り運動は過去に水切り器具クード等を用い、各イベントで家庭系可燃ごみの約4割が生ごみで、その内8割が水分であるという説明を加え啓発を行っていましたが、実際の生活で生ごみを絞ると何g減るのか、10g減らすにはどのようなことをすれば減るのか等具体的な方法の啓発を検討してまいります。 なお、現在生ごみ処理機購入費補助制度を実施しているところですが、新規に住宅を購入される方等、自宅が新しくなるタイミングで生ごみ処理機を購入されている方も実際にいるため、どのような方法が良いか等含め検討してまいります。
7	P4	第2部-3-◎重点取組事項 【雑がみ対策全般について】	雑がみ分類の仕方、リサイクルできるものやできないものを、具体的に明示できるPR紙を作成する。自治会や老人会、婦人会、子供会などの団体と協力しながら啓発運動を進める。	雑がみのPRについては、「公益財団法人古紙再生促進センター」から提供いただいたものを活用し、市に登録しているごみ減量推進団体と協同で啓発を行っているところでございます。
8	P4	第2部-3-◎重点取組事項-1) イ 市内小中学校で雑がみ・ペットボトルキャップの回収事業	キャップ回収事業について、学校に限らず広く家庭に協力を呼びかける。 まず、キャップを何故外さなければならないかが十分説明されていない。 キャップを外す有効性をPRして協力依頼をする。	キャップ回収事業について、小中学生以外へペットボトルキャップを取り外すことの周知については、クリーンカレンダーや広報を通じて啓発しており、令和2年度からは、学校から排出されるキャップを対象としておらず、学校に通う児童・生徒に対して、学校を通じて呼びかけているものです。 また、キャップを外す理由も各児童・生徒にプリントを作成し、配布をしております。
9	P4	第2部 3 生ごみの排出のための方策に関する事項	他市で行われている専用ごみ袋の実施を寝屋川市も行われることはありますか。または計画中ですか。	他市での指定専用ごみ袋による排出事例は把握しておりますが、現時点で本市による実施・計画はございません。

番号	ページ	意見箇所	意見内容	事務局回答
10	P4	第2部-3-◎重点取組事項 (1) 家庭系ごみの減量	各項目において考えられる事項は実施されておられます。 減量するのも行き着いているのではと思います。 他に市民が簡単に協力できることを考えなければと思います。	ごみ減量、分別の施策について、さらに市民が協力していただける施策を調査・研究してまいります。
11	P4	第2部-3-◎重点取組事項	コロナ禍の状況を踏まえた取組事項となっておりますでしょうか。 例えば、P5「キ 親子ごみ教室の開催」などの各イベントは令和3年度も実施予定でしょうか。	本実施計画につきましては、コロナ禍の状況を踏まえた取組事項となっておりますが、コロナウイルス感染者の状況、緊急事態宣言の発出状況等を考慮し、各イベントの実施・中止・延期について検討してまいります。 なお、令和3年度の親子ごみ教室は12月に開催予定です。
12	P4	第2部-3-◎重点取組事項	実施計画の重点取組事項には、寝屋川市一般廃棄物処理基本計画のリサイクルに関する目標のうち、「ペットボトル・廃プラの分別促進」に関する取組だけが含まれていないのですが、ペットボトル・廃プラの分別促進に関する施策・取組は何か実施されておりますでしょうか。	クリーンカレンダーやホームページで、廃プラ・ペットボトルの分別や、キャップ・ラベルを外して排出していただくよう呼びかけています。 また、転入者向けとして、転入届手続き時に廃プラ・ペットボトルの分別を含むごみ分別ちらしを配布しています。
13	P5	第2部-3-◎重点取組事項-1) エ 生ごみの水切り啓発	「もう一絞り運動」に加えて、「最後にもう一振り運動」を展開してはどうか。 「一絞り」した後に「最後にもう一振り」を要請し、水分除去を徹底。	水切りのもう一絞り運動の発展版として検討させていただきます。
14	P5	第2部-3-◎重点取組事項-1) オ 生ごみの堆肥化・土作り講習会	堆肥を必要としない家庭では、堆肥を作らないと思うので、堆肥不要の家庭に堆肥を作ってもらうため、市が作った堆肥の量に応じて、例えば買い物に使えるポイントを与える等の方法はどうか。	今後、堆肥の活用方法まで考慮した堆肥化施策を調査・研究してまいります。
15	P5	第2部-3-◎重点取組事項-1) ケ 不用品の有効活用	寝屋川消費者協会ではリユースとして、着物などを洋服に作り替えて、これまでは自分の作品を着てファッションショーなどを行っています。	寝屋川市消費者協会を始め、各団体が実施している取組等の市民への情報提供を活用しながら、廃棄する前にもう一度リユースできないかを考えていただくよう啓発してまいります。

番号	ページ	意見箇所	意見内容	事務局回答
16	P5	第2部-3-◎重点取組事項-(1) ク 就学前児童の環境学習	就学前児童の環境学習は、30年後の市民への効果だけではなく、現在の児童の親世代への広報手段でもあるはずで。ターゲットを就学前児童とその保護者にしてはいかがでしょうか。 項目名を変えるのではなく、保護者への伝達を目指すというように内容を変更するほうが良いと思います。	現在の児童の保護者世代への広報手段でもあることから、ターゲットを「就学前児童とその保護者」とし内容を「保護者への伝達を目指す」という趣旨の内容記載にいたします。
17	P6	第2部-3-◎継続的な取組事項 (3)小型家電の再資源化	再資源として回収できる工夫と実行。 もっと市民にアピールを！	平成30年7月より小型家電のボックス回収を開始し、公共施設20箇所からスタートし、平成31年4月に保健所にボックス追加、令和2年度にイオン四條畷にボックスを追加し、利便性の向上を図っているところでございます。 また今後も、様々な方法を調査・研究し、実施を検討してまいります。
18	P6	第2部-3-◎重点取組事項-(2) ア 食品ロス削減	コロナ禍で懇親会が開催されていないので、食べ残しという意味では減っているのではないのでしょうか。 懇親会が開催できるようになれば、宴会場で「30・10運動」のちらしを配布する等協力できることはさせていただきます。「市広報誌での啓発」以外の取組にもなると思います。	食べ残しが減っているという具体的なデータはございませんが、令和2年度は飲食店を含む事業系ごみが大幅に減少しました。 市広報誌以外での啓発にご協力いただくと非常に助かりますので、今後とも宜しく願いいたします。
19	P6	第2部-3-◎重点取組事項-(2) イ 多量排出事業者への啓発	多量排出事業者の件数を記入し、確実に実行してください。	令和4年度の実施計画において、多量排出事業者の件数を記載し、実行してまいります。
20	P9	第2部 4 収集・持ち込みができる廃棄物の種類及び分別区分	設置のための総工費を必ず明示してほしい。	近年実施し始めた小型家電回収ボックスにつきましては、平成30年度に20台1,760,000円、令和元年度に2台176,000円となっており、実施計画の記載につきましては検討させていただきます。
21		全体	具体的かつ網羅的に記載されており、令和3年度のごみの排出状況及びし尿処理状況やそれぞれに対する施策・取組が理解しやすく感じました。	今後も具体的かつ網羅的に記載し、理解しやすい計画策定に取り組んでまいります。

番号	ページ	意見箇所	意見内容	事務局回答
22		その他	<p>ごみ減量やリサイクルの推進に関して、細部にわたり詳しく説明されよくわかりました。次年度以降の重点取組事項にも的を絞られ、大変良いと思われま。良い案ができて、目標達成できなければ意味のないことだと思ひます。減量作戦は市民の協力がなければ達成できません。啓発運動にどう取り組むかが課題のような気がします。提案も十分ではありませんが、気がつく点を書いてみました。啓発運動に協力していただける人を多く集めることも重要だと考えます。</p>	<p>ごみ減量やリサイクルの推進に関しては、市民の協力が不可欠であることから、分かりやすく伝える啓発・ごみ減量施策への協力を実施してもらえらる啓発について、今後も調査・研究してまいります。また、ごみ減量マイスターやごみ減量推進団体を含め啓発活動に協力していただける方が増加するよう努めてまいります。</p>
23		その他	<p>使い捨てカイロを収集して、水の浄化作用に効果がある捉え方をされることはできないでしょうか。</p>	<p>民間企業が使い捨てカイロを資源として有効活用していることは認識しておりますので、調査・研究してまいります。</p>